

2011年2月期 第2四半期

決算説明資料

2010年3月～2010年8月



株式会社 **エスケイジャパン**



代表取締役社長 久保 敏志

(証券コード:7608)

SKグループ事業内容

会社名	主な事業内容	セグメント
 <p>株式会社 エスケイジャパン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アミューズメント業界向け販売部門 ・SP(セールスプロモーション)部門 ・ECサイト(インターネットショッピング)部門 	卸売事業
 <p>株式会社 サンエス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・物販業界向け販売部門 ・ヴィレッジヴァンガード、ドン・キホーテ、キデイランド等へのキャラクターグッズ販売 	卸売事業
 <p>株式会社 ケー・ディー・システム</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターグッズの企画開発・販売 ・グループのメーカー部門として展開 (エスケイジャパン・サンエスへの売上は全体の約60%) 	卸売事業
 <p>株式会社 ナカヌキヤ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ナカヌキヤ」による小売事業 ・心齋橋店 広島本通り店 松山銀天街店 	小売事業
 <p>SKJ USA, INC.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカでのキャラクターグッズ販売 ・アメリカのキャラクター発掘と日本への情報提供 (10年8月よりスタート) 	卸売事業

業績報告

第2四半期(累計)ハイライト

【連結】

(単位:百万円)

	当四半期		対前年四半期			
	金額	利益率	金額	利益率	増減額	増減率
売上高	4,879	—	4,561	—	317	7.0%
売上総利益	1,322	27.1%	1,250	27.4%	71	5.7%
営業利益	230	4.7%	146	3.2%	84	58.0%
経常利益	229	4.7%	171	3.8%	57	33.3%
四半期純利益	85	1.8%	329	7.2%	△243	△73.9%

・物販業界向け販売部門・SP部門の好調により7.0%の増収

・売上総利益率は0.3ポイントダウンしたものの、増収と販管費削減(前四半期比1.2%減)の効果で営業利益は58.0%、経常利益は33.3%それぞれ前期比増となる

・特別損失を103百万円計上したため、四半期純利益は85百万円(前四半期は保険解約返戻金等で特別利益を177百万円計上)

第2四半期(累計)ハイライト

【単体】

(単位:百万円)

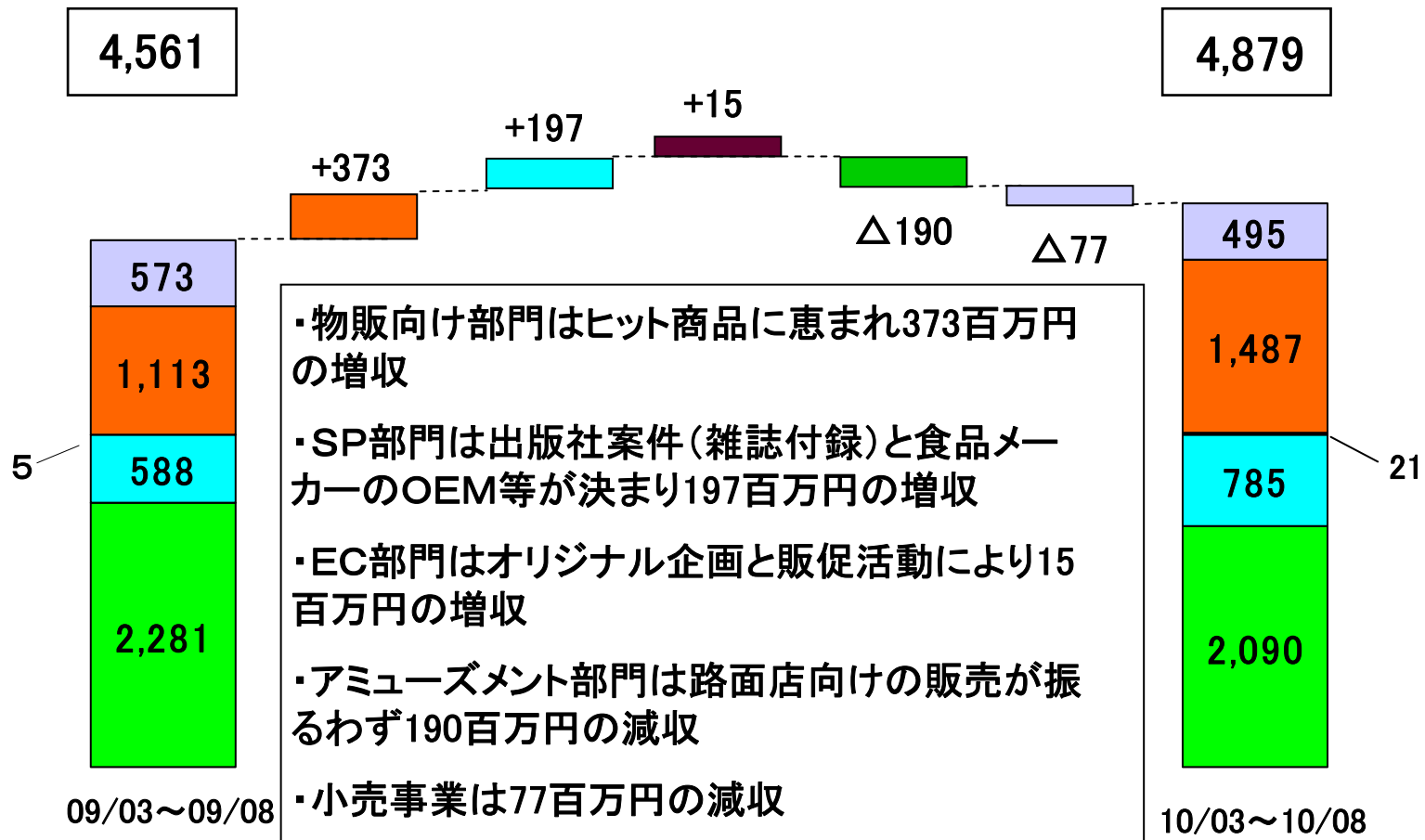
	当四半期		対前年四半期			
	金額	利益率	金額	利益率	増減額	増減率
売上高	3,015	—	2,896	—	119	4.1%
売上総利益	751	24.9%	774	26.7%	△ 23	△ 3.0%
営業利益	122	4.1%	129	4.5%	△ 6	△ 5.2%
経常利益	130	4.3%	167	5.8%	△ 36	△ 22.0%
四半期純利益	29	1.0%	276	9.5%	△ 247	△ 89.4%

・路面店向けの販売が前四半期比9.2%減と不振であったが、メーカー系オペレーターへの販売とSP部門の好調により4.1%の増収となる

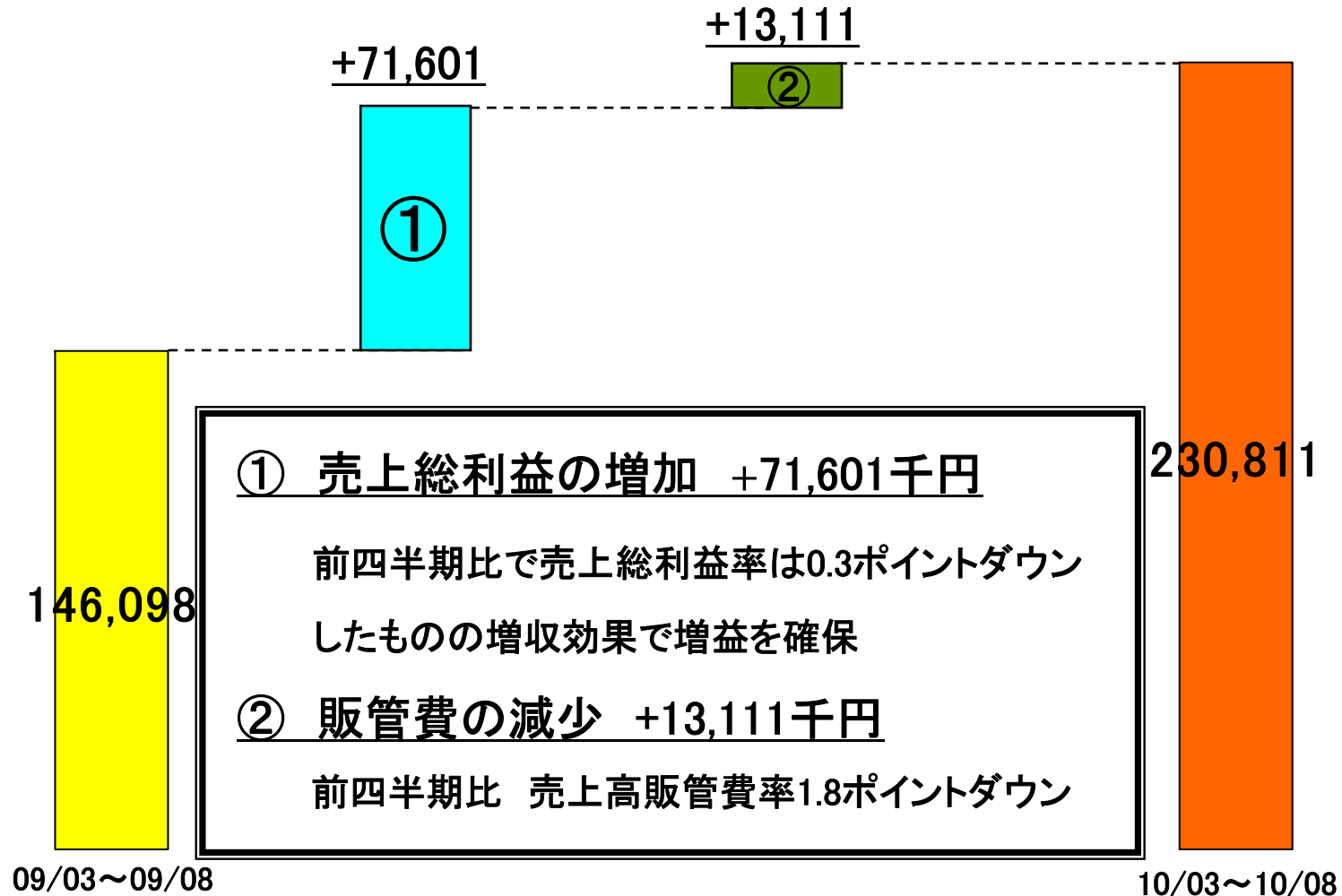
・販管費は前四半期比2.6%減となったものの、売上総利益率が前期比1.8ポイントダウンとなり、営業利益、経常利益ともに減益となる

・特別損失を103百万円計上したため、四半期純利益は29百万円(前四半期は保険解約返戻金等で特別利益を118百万円計上)

セグメント別売上高推移 (単位:百万円)

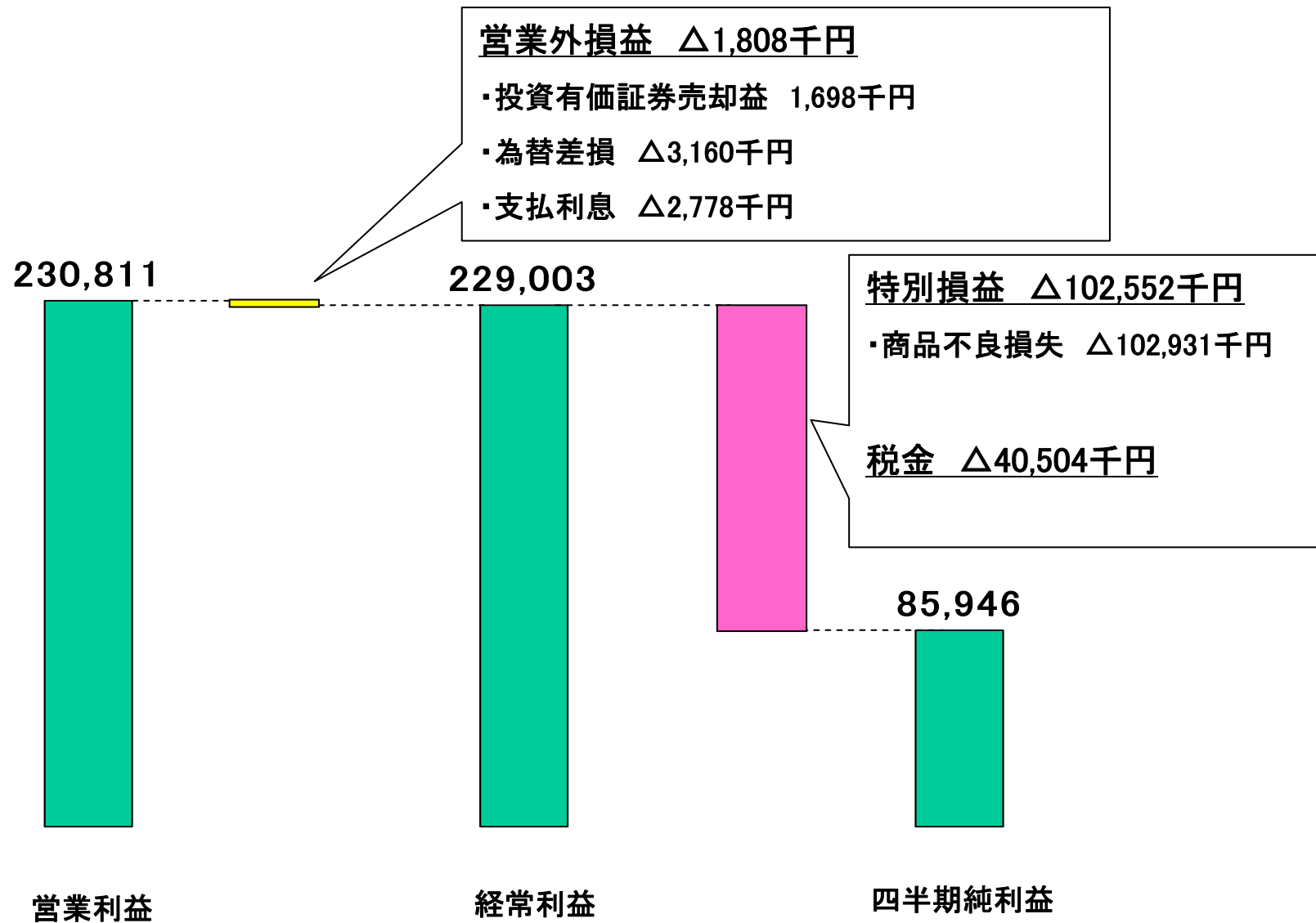


営業利益の変動要因 (単位:千円)



営業外損益・特別損益の内訳

(単位:千円)



要約連結貸借対照表

【資産の部】
【負債・純資産の部】

(単位:百万円)

項 目	10年8月		項 目	10年8月	
	31日現在	28日現在		31日現在	28日現在
流動資産	2,823	2,532	流動負債	1,781	1,491
			固定負債	230	228
			負債合計	2,012	1,719
			資本金	440	440
固定資産	1,096	1,076	資本剰余金	471	471
			利益剰余金	1,034	1,014
			純資産合計	1,908	1,889
資産合計	3,920	3,608	負債・純資産 合 計	3,920	3,608

たな卸資産は前期末比64百万円減(△17.6%)

セグメント別事業報告

セグメント別の状況(卸売事業)

【アミューズメント業界向け販売部門】

- メーカー系オペレーター等のチェーン展開している販売先を中心とした商品政策を推進
- 「[まるねこくらぶ](#)」等を含めたオリジナル商品の売上が前期比28.9%増と好調
- 路面店への販売が振るわず、売上高は2,090百万円(前期比8.4%減)

【SP業界向け販売部門】

- 雑誌の付録や外食チェーンのOEM等を獲得
- 売上高は785百万円(前期比33.5%増)

【EC部門】

- 「[でぶねこ](#)」のEC専用商品の開発と投入による他社との差別化と、出店モール内での広告展開等を推進
- [人気キャラクターのフィギュア](#)やストラップが好調に推移し、売上高は21百万円(前期比292.7%増)

【物販業界向け販売部門】

- [人気キャラクターのストラップ](#)等の携帯電話関連グッズが291百万円(前期比106.9%増)と好調
- コンビニ向けルート、専門店、量販店への売上が大幅に増加し、売上高は1,487百万円(前期比33.6%増)

セグメント別の状況(小売事業)

【小売事業】

- ナカヌキヤの既存店3店舗は売上高前期比16.7%減となったが、コスト削減と在庫圧縮等が奏功し黒字を確保
- SALAD BOWLは2店舗を運営し、当初の計画どおり順調に推移
- 売上高は495百万円(前期比13.6%減)、営業利益は3百万円(前期は12百万円の営業損失)



SALAD BOWL スールス
(兵庫県尼崎市 つかしん)



SALAD BOWL 甲子園店
(兵庫県西宮市 ららぽーと甲子園)

SALAD BOWL 出店シュミレーション

- | | | | |
|-------------|-------------------|---------|---|
| ■ 売り場面積 | 20坪～30坪 | ■ コンセプト | イキイキ活動し生活を楽しむ「前向きマインドな女性」に向けてフレグランスやコスメ・生活雑貨を集め、楽しい癒し空間を演出します |
| ■ 年間坪当たり売上高 | 250万円～300万円 | | |
| ■ 出店候補地 | 駅ビル、地下街、ショッピングモール | | |
| ■ 取扱いアイテム | 香水・化粧品・化粧雑貨・生活雑貨 | | |

新規部門の進捗状況

EC(インターネットショッピング)部門

- ・前四半期(09年3月～8月)の5,396千円から当四半期(10年3月～8月)は21,191千円と292.7%の増収

(当期の戦略)

- ・自社オリジナルキャラクター(まるねこ・でぶねこ・SweetBear)商品の企画・開発・販売の強化
 - ・他社ライセンス商品の企画・開発
 - ・他社とのタイアップキャンペーンや相互乗り入れの強化
-

SKJ USA

- ・ラウンドワン プエンテヒルズモール店のオープンと同時に8月に本格始動
- ・自社オリジナルキャラクターおよび他の日本の有名キャラクター商品の販売
- ・アメリカの新たなキャラクター発掘と最新トレンド情報の日本への提供
- ・現地業者への販売とOEM展開を計画

配当および業績見込み

株主還元

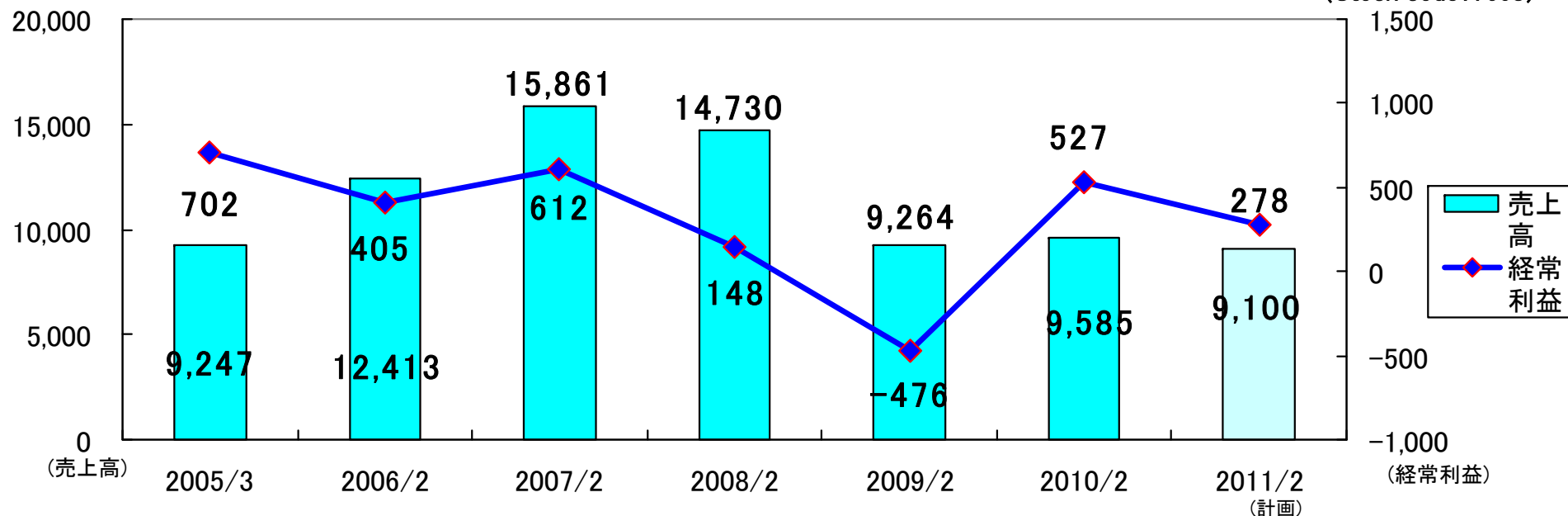
当社は株主還元として年12円(中間6円、期末6円)の配当を基本にし、計画を上回る利益が見込める場合は、増配もしくは株式分割を実施することを経営の重要課題としております。

2002/3	2003/3	2004/3	2005/3	2006/2	2007/2	2008/2	2009/2	2010/2	2011/2
—	1:1.3	1:1.2	1:1.3 1:1.1	—	—	—	—	—	—
13円	16円	17円	20円	14円	14円	12円	9円	14円	12円
記念 配当1円	記念 配当4円	記念 配当5円	記念 配当8円	記念 配当2円	特別 配当2円			記念 配当2円	
大証2部 上場記念	東証2部 上場記念	(※) 阪神 タイガース 優勝に伴う 好業績 に対して	東証 大証 1部上場 記念 創立15周 年記念	(※) 阪神タイ ガース 優勝	当初の 計画を 上回る 好業績 達成			創立20 周年記念	

(※)SKグループは阪神タイガースグッズを企画販売し、また阪神タイガースオフィシャルショップをナカヌキヤ広島本通り店で展開しており、グッズの企画販売を通して阪神タイガースを応援してきたことによります。

2011年2月期 通期業績見込み (単位:百万円)

(Stock code: 7608)



	連 結			単 体		
	11年2月期予想	10年2月期実績	予想増減率	11年2月期予想	10年2月期実績	予想増減率
売上高	9,100	9,585	△ 5.1%	5,500	6,016	△ 8.6
営業利益	286	493	△42.0%	125	435	△71.3
経常利益	278	527	△47.3%	140	496	△71.8
当期純利益	120	302	△60.3%	46	311	△85.2

10月13日に業績予想の上方修正を発表